

## 令和4年度 第1回磐田市行政経営審議会 議事録

日 時 令和4年8月2日（火） 18時30分から20時30分まで

出席者 委員 12名

秋元富敏 委員、浅野真人 委員、井上佳子 委員、岡本一夫 委員  
鈴木敦之 委員、砂川利広 委員、竹内育代 委員、永井新次 委員  
堀川知廣 委員、村上勇夫 委員、森谷浩行 委員、山越弘晃 委員  
(欠席2名 井上佳子 委員、高柳裕久 委員)

事務局（総務部長、企画部長、政策推進課長、政策推進課グループ長、  
政策推進課担当4名）

進行：政策推進課長

### 1 開 会

2 定足数の報告（委員総数 14名中 12名の出席により会議成立）

3 副会長あいさつ

4 委員自己紹介

5 会長の選出（堀川知廣 委員 選出）

6 議事

第4次磐田市行財政改革実施計画の策定について

## ■ 質疑応答

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 3ページの目標値の設定の件で、ここに掲げてある指標は、基本施策1と2に関連するが、基本施策3に関わる指標は特にないと思う。1番下の「磐田は住みやすいと答える市民の割合」というのは全体に関わる指標だと思うので、基本施策3に直結する指標は必要ないのか。  |
| 事務局 | <p>まず、3ページの指標目標値に関しては、昨年度策定した総合計画後期基本計画で設定した目標値と指標になっている。そのため、分野7の行革を全体的に推進するに当たっての成果については、総合計画で設定した指標そのままを用いていきたいということで、ここに載せさせていただいている。</p> <p>基本施策の1と2に、この全体の成果指標がかぶるといったような見方になってしまうかもしれないが、基本施策1と2については、それぞれの目的や内容に直結する指標であったので、全体の指標ではあるがそのまま活用させていただいた。</p> <p>ただ、基本施策3については、総合計画の指標をそのまま準用できる部分がないので、今回は新たに事務局で案をつくらせていただき設定した。</p> |
| 委員  | 9ページに現状と目標値が書いてある。例えば、「市長と市民の対話の機会創出」というのは、目標値が令和8年で8回だが、令和8年までに8回ということではなく、令和8年には年8回にしたいということか。  |
| 事務局 | 令和8年度末までには1年間では、8回行いたいということである。   |
| 委員  | そうすると、順次、毎年毎年の計画をつくっていくということになるのか。  |
| 事務局 | 所管をする課のほうで、計画を立てながら、毎年回数を計画していく形になる。  |
| 委員  | もう一つ、個別施設計画の策定数というのがあり、これは令和8年で398施設になっているが、つらくなくてはいけない個別施設は全体でいくつあるのか。   |
| 事務局 | 全体の施設から小さい公園を除いたものを目標値と掲げている。398施設を個別計画が必要な施設として掲載した。   |
| 委員  | 例えば、13ページ、No.11「分かりやすい広報の推進」というところで、令和4年度は「検討」になっていて、令和5年度から検討した結果を実施することになっている。「検討」というのがいくつかあるが、1年かけて検討するというふうに理解すればよいか。   |
| 事務局 | そのとおり。ここに書かれているホームページの内容については、令和5年度に大規模なリニューアルを行う予定で、今年度、外部人材の方の力も借りながら検討を進めていくということで、1年をかけて検討というふうに書かせていただいている。  |
| 委員  | そのほかにも「検討」というところがいくつかあるが、市役所の中で検討するというよりも、その他のいろいろな方の意見を聞いて検討して実施計画をつくっていくと理解すればよいか。  |
| 事務局 | 取組内容によってその違いはあるかと思う。庁内のみでの検討もある。  |
| 委員  | 25ページ、「働きやすい職場づくり」において、取組概要にテレワークの試験的導入とあるが、磐田市ではテレワークはまだ実施がされていないという理解でよいか。  |
| 事務局 | 現在、磐田市ではテレワークは試行中で、本格導入はまだである。  |

## ■A グループ意見交換

内容：基本施策1 効率的・効果的な行政運営の推進

基本施策3 機動的な組織体制の構築と人材の育成

秋元委員、岡本委員、竹内委員、寺澤委員、村上委員、森谷委員

|    |  |
|----|--|
| 委員 | <p>まず1点目、指標のNo.1「市長と市民との対話の機会創出」というところで、年に8回とか分かりやすく表現したほうがいいと思う。指標の定義のところでもいいと思うが、「年間設置回数」というような表現を入れて、年間の回数であることを表してほしい。</p> <p>2点目、11ページ、12ページに特に多いが、「AI」や「RPA」、「デジタルデバイド」、「DX」など、まだ聞き慣れない言葉だと思うので、できればこのページの中に注釈を入れていただいたほうがいいと思う。巻末に入れることもあるが、このページを見たときにすぐ頭に入るというような形をとっていただければと思う。</p> <p>3点目、11ページ、指標No.7「わたのdXの推進」の「ビッグデータの活用方法の検討・実施」とあるが、ビッグデータという、いろいろな多岐にわたるデータの検討で、他市町でもいろんなことが始められていると思うが、どういうことをやるのか何も分からない。どんなことが検討されるのかヒントとなるような言葉がないのかなと感じた。</p> <p>4点目、11ページ「基幹業務システムの標準化」について、市が今運用している基幹業務システムを標準化されるということなのか。このあたりも内容が読みとれずよく理解できなかった。</p> <p>5点目、14ページ、指標No.12の取組内容で「公共施設等の定期的な点検による予防保全の実施」について、寿命推定に基づき壊れる前に定期的に部品交換することが予防保全だと思うので、「定期点検による予防保善」という文言が少ししっくりこなかった。</p>  |
| 委員 | <p>11ページの「行政のDXの推進」の部分ですが、No.6「マイナンバーカードの独自利用の推進」の取組概要に、「様々な利用方法について検討・研究を進める」とある。補強意見的な意味で、デジタルのデータ処理が遅れて、全国的に事務に負担がかかってしまったという経過があります。</p> <p>そこで、今、もう国でも検討されていることだが、例えば、マイナンバーカードをどうするかということよりは、もう少し具体的に、マイナンバーカードをワクチン接種記録に結びつけて、そしてマイナンバーカードを持っていれば、その他の媒体を使わなくても、いつでも自らの記録を提出できるし、場合によって、大きなイベントとか旅行とか、何回接種したことが参加条件というようなことが、今後も出てくる可能性があるのでそういったところにも使える。</p> <p>つまり、DXを進めるといえることになれば、行政にとって効率的であるだけでなく、市民にとって非常に有用であるというのが、大事な視点だと思う。</p> <p>さらに、例えば、マイナンバーカードとはちょっと離れるが、今日の発表だと静岡県がまた感染者の最高値を記録し、医療が本当に逼迫した状態になってきている。救急車や入院の列が並んでいるというふうに聞いている。例えば、オンライン申請だとか、診察もオンラインでやって、検査はもちろん、どこかに行って実地でやるしかないわけだが、その結果を見て、どこでどのように治療するかということまで含めて、医師のいる現場だけで全部を賄うとすると、事実上パンク状態ということが言われている。</p> <p>それから、保健所の保健師さんたちにも大変で、医療関係者や行政関係者の一部が休まざるを得ないというようなところまで追い込まれているというようなことも聞いているので、DXをどのよう</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>に、磐田市で進めていくかということも一つのモデルとして、コロナをどう捉えて、そしてこれをデジタルトランスフォーメーション化するとき、例えば磐田方式としてはどうしていくのか、ほかの自治体や、国が出してきたものとどう整合性をつけていくのか。</p> <p>そして、ビッグデータ化についても、そういったものの中から拾い上げていくことができるのか、コロナというのはまさしくそういう意味では、良い実験的な材料を出してくれていると思うので、そこに焦点を絞って、一つ突破口としてやってみるということを提案する。</p>   |
| 事務局 | <p>全体的に分かりにくい部分が多くて、もう少し分かりやすくしたほうが良いという意見だと思う。その中でビッグデータの活用方法のところだが、内容的には、磐田市のホームページの中で、年齢別人口や地番図等26種類ぐらいのデータを公開して、自由に使っていただける形にはしている。また、企業がこういったデータを必要としているのかがまだ分かっていない状況なので、もう少し検討して、もっと企業や市民が使いやすいデータを、今後、出していきたいと考えている。</p> <p>基幹業務システムの標準化は、国から令和7年度に向けて、全国的に住民票や住民税に関するようなデータを標準化しようという指示が出ているので、標準化していくために、市役所の運用やシステムの使い方も変更していかなければならないので、そういったことを今後検討していくというような内容が含まれている。</p>                            |
| 事務局 | <p>DXと市民生活についての御提案ですけれども、ここには個別の細かいことは書きづらいので、実際の磐田市の施策として、現場でどのように市民生活を支えていけるかという面では、コロナというのは、デジタルを含めて非常に大きなチャンスで、行政として実際にさまざまな面で何ができるかということ、これから十分考えていきたいと思う。</p>   |
| 委員  | <p>11ページの「マイナンバーカードの独自利用の推進」ですが、まず、マイナンバーカードの普及促進については、今年度末までに、国が全国民に行き渡ることを目標として促進していると思うが、そこに記載しているこの様々な利用方法について、検討研究を進めるという取組概要と、独自利用の推進ということと、市民サービスの向上ということが令和4年度から「実施」になっているが、具体的に実施する内容が既にあるのか。それとも、本来は検討・研究が、令和4年度にしっかり意見聴取も含めて、コロナの利用展開も含めて、それから展開して独自の実施に結びつくイメージなのか。それとも、国が示している基幹業務システムと同じような、いろいろな医療への展開とかそういったものを市民サービスの向上につなげるのか。その辺がこのタイトルと記載内容が一致しないようなので、一致させるような表現にしたほうがよいと思う。</p>               |
| 事務局 | <p>記載内容を検討させていただきたい。</p>  |
| 委員  | <p>直感的に見て感じたことだが、例えば10ページを例にとると、「市民と市長との対話の機会の創出」とあり、「市長が個人や団体、企業を訪問し、現場を実際に見ることにより」と書いてある。令和4年度「実施」となっていて、先ほどの目標値でいくと令和8年度までに8回というふうになるが、令和4年度には、例えば、目標数字が書けないのか。</p> <p>全てのところに、できれば具体的に、できれば数字を持って、それでできたかできないかということ、市民に評価してもらおうというような計画にすると、この計画を見る人が、自分に関心のあるところが、市はどういうふうにやろうとしているのかということ、理解できるのではないと思う。</p> <p>市の側からすると、書いてしまうと実施をするのが難しいということもあるのかもしれないが、単に「実施」として、それが令和5年も6年も7年も8年も、矢印で「実施」というふうになっている</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>と、何をどこまで実施するのかということが、市民の側からすると見えにくいと思う。もう少し具体的に、例えば数字で書くとか、あるいはこれをやるというふうに書けると、これを見て、市民が、市がどういうふうにしようとしているのかとか、あるいは市長はどういうふうを考えているのかということを理解できるのではないかと思う。そういうふうに書けるものか。</p>   |
| 事務局 | <p>全ての項目にということではないが、やはり数字、もしくは、もう少しこの年度にはこういうことをやるという具体的なことを書いたほうが分かりやすいと思う。ただ、進み具合がなかなか明確にならない項目だとか、これだけ項目があると多種多様になっているので、もう一度項目を点検させてもらい、例えばNo.4「市民と市長との対話の機会の創出」のところは、令和8年度は年8回という目標を掲げているので、令和6年度には7回、令和8年度になったら8回とか、だんだん増やすとか、もう一気に、8回を目指して動くとかいう具体的な数字が入る項目については、入れるような検討をしてみたいと思う。どれだけの項目になるかは分からないが、しっかり精査したいと思う。</p>   |
| 委員  | <p>ここに掲げた数字を実現できなくても、市の行政に対して大きな苦情とか、あるいは、批判とかいうことはあまりないと思う。これをやることによってできなかったこと、あるいは進み過ぎたことについて、理由をしっかりと述べることであれば、これが市民と市の行政のつながりをしっかりし、隔たりを狭めることにつながると思うので、市民から活発に意見をもらうようなことをして、市民が支える市の行政というふうにするためには、具体的な数字あるいは具体的な項目をできるだけ書いて、そこで議論を深めていくということが行財政実施計画の姿かなという感じがする。</p>   |
| 委員  | <p>9ページ、目標値で「個別施設計画の策定数」というのがある。まず、現状が321施設あり令和8年には398施設にするということは、何かその施設を増やすという計画はあるのか。もしあるとすれば、具体的にどんなものを増やすのか、その辺を明示できないか。</p> <p>それともう一つは、人口減少あるいは財政的な関係から見たときに、なかなか施設を増やすことは考えられないが、どういう考えであるのか。</p>   |
| 事務局 | <p>市の中の小さな公園を除いた公共施設の数で全部で398施設ある。その数を増やすという意味ではなく、全部についての個別施設計画をつくっていくという内容で、計画の数になる。</p>   |
| 委員  | <p>そういう具体的な内容というのは表記できないのか。</p>  |
| 事務局 | <p>分かりにくい書き方であると思いますので、もう少し分かりやすい表記に変えたいと思う。</p>   |
| 事務局 | <p>非常に分かりにくい表記になっているのが事実だと思う。321施設でしか今計画がない、つくられてないところを398の計画の数に増やしたいということで、「321施設」というのを、「321計画」にしたほうが分かりやすいのかもしれないし、書き方を検討させていただきたい。</p> <p>公共施設に対する考え方は、人口減少社会の中で、これから右肩上がり施設が増えることはあり得ないというふうに市として思っている。今あるものを維持管理していく方法を考えないと、統合して減らしていくとか、維持管理がこれからどんどん大変になっていくということを前提に市として計画をつくって、どのように適正に管理していくかっていうことを、この行財政改革の中では本当に肝だと思っているので、それも分かりやすく表現できるよう検討したいと思う。</p> |
| 委員  | <p>13ページの「広報機能の強化」について、これを計画段階で評価するというのは、いいかどうか分からないが、私は、磐田市のホットメールに登録していて、メール内容をよく見させてもらっている。今度、8月から名称が変わったわけだが、磐田市の広報は非常にうまくできていると思っている。それはなぜかということ、まず、加入するときに自分がどの情報を得たいかチェックして登録する</p>   |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>と、その情報が送られてくる。たくさんの情報が並んでいて、それを取捨選択して、メールという、非常に早い、ニュース速報の形で手に入れることができる仕組みがしっかりできている。特に、防災情報、行方不明者の同報無線事内容だとか、火災防犯の同報無線内容などはもちろん、これ以外にイベント、お出かけ情報とか、花の開花情報だとか、講演講座情報だとかスポーツ、文化イベント、その他のことについても非常にこまめに載せてくれてある。</p> <p>つまり、メールに登録しておくだけで、磐田市で近々行うさまざまなイベントや行事の情報が手に入るし、今起っている様々な問題、例えば避難情報等についても確実に入ってくるということになるので、大変よい内容かなというふうに思っている。それはただ、磐田市の人口規模が17万人弱だが、そういう人口規模であることがちょうど情報発信の塊として適正な規模であるのかなと思う。私は浜松市に住んでいるが、浜松市の人口は80万人弱なので、これだけのきめ細かい情報を各課から出してメールで発信しようとしたらもうメールがパンクしてしまう。だから、浜松の場合は、個別に出したそれぞれのメールをそれぞれに登録して必要な情報を得るというふうになっている。磐田の場合の一括のやり方が、ちょうどこの内容に適していると思う。</p> <p>また、広報担当が出しているいわたファンクラブというフェイスブックで出しているものがある。速報的な画像入りのニュースで、磐田市で起っている市民にすぐ知らせたいことを、担当が現場に出掛けて行って、写真に撮ってきたものを市民に知らせるような媒体となっているところも、とても良いと思っている。</p> <p>今まで一般的にまとまっているというふうにお話したが、さらにここに書いてあるような、磐田市民の磐田市に対する関心を引き上げていくために、さらに今度は内容の工夫や、場合によっては特集を組んで、1年特集で何かをやってみるというふうに、磐田の特徴をまずは市民に理解し納得してもらおうような、あるいは、磐田を好きになってもらうような、そういう組立てを心掛けてやっていただけると、ちょうどその希望と相まって、非常にいい効果が出てくるのではないかと期待している。</p> |
| <p>委員</p>  | <p>まず、9ページの「市民参画の推進」のNo.1「審議会等の見直し」について、指針の徹底や委員の見直しという、当たり前のような表現しか読み取れないので、令和4年から8年に向けてどこでどんなアクションを加えるのか、中間見直しはあるのか、そういったことも分かるように表現していただかないと、当たり前の指針の徹底とこの委員の見直しが、時期に来たら毎年これは見直すことになったのかとか、逆に勘違いをすることもあるかと思うので、そこはしっかりと表現をしていただきたい。</p> <p>この5年間の中のを、ただ「実施」するだけじゃなくて、どこかでPDCAのなかで見直しとか、また市民にチェックを掛けるとかそういう形がどこかであるのかなというふうに思うので、その辺も表現できたら良いと思う。</p> <p>もう1点、10ページの「若い世代の市政への参画の推進」について、特に高校生提案事業や大学との連携、若者主体による地域イベントの支援は、多分、市長の強い思いがあるのではないかとと思う。この辺を少し分かりやすいというか磐田市ならではの、将来の人づくり、Uターン就職に向けての、こういったものを積極的に取り入れていくというものをどこかに表現できると良いと思う。</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>一つ目の審議会のことについては、書き方を検討させていただきたいと思います。市として言いたいところは、女性委員の比率や若い世代からの委員の選任だとか、公募による委員の選任の率を上げ</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>たいといった考えがあるので、やりたいことがしっかり表現できるような書き方があれば、変えてみたいと思う。</p> <p>それから、若い世代へのアプローチのことについては、市長も強い思いを持ってやはり若い人たちに、行く行く磐田で暮らしてもらうために何ができるかということを考えていきたいという思いは非常に強くお持ちで、私たちもそういう思いで仕事をさせていただいている。具体的に少し欠けるところがあれば、もう少し具体的な表記ができるか検討させていただきたいと思う。</p> |
| 委員  | <p>それぞれ関連するSDGsの表現をするという説明があったが、基本施策の1しか三つのSDGsが記載されてなくて、基本政策2及び3にはSDGsが記載されていないが、そういう意味合いでよいか。</p>  |
| 事務局 | <p>後ほど確認をさせていただきたい。</p>  |

## ■B グループ意見交換

内容：基本施策2 持続可能な財政基盤の確立

浅野委員、鈴木委員、砂川委員、永井委員、山越委員

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>取組課題の15番、「市税等収納対策の強化」ということで、一つ目の「納付機会の多様化の推進」について、現在、磐田市の納付方法には口座振替、コンビニ等の納付書の支払い、スマホ決済という形になっているが、それ以外の決済方法としてクレジットカード決済があるのかなと思う。</p> <p>また、口座振替の申込みは、紙に印鑑をつけて取引金融機関に提出という形になっているが、他の公共料金、水道・ガス・電気等については、ウェブから印鑑なしで申込みができるので、申込書の多様化も検討しても良いのではないかと感じた。</p> <p>それから、「徴収・滞納整理の強化」については、第3次の実施計画の取組結果の報告書を拝見したところ、もう既に、案外高い比率で徴収できていて、市税の令和3年度の収納率は99.6%ということで、非常に高い収納率を維持されているので、これについて前回の取組内容、地区担当割を廃止して滞納者に対応をしたというような記載があるので、そのやり方は継続していただければ良いのではないかと感じた。</p> |
| 委員  | <p>結果を見てかなり高いパーセンテージで徴収できているということを見たが、市税の徴収に当たって、コロナ禍とかで生活が苦しくてなかなか市税が払えない方々もいるのかなと思ったので、今磐田市が困っている、残りの徴収できないところで、何か情報はるか。</p>  |
| 事務局 | <p>徴収できない理由はさまざまである。委員がおっしゃったように、コロナの影響も多少はある。そのほかに、外国人の方が税金を払わずにそのまま転出してしまうケースとか、あとは日本人の方でも事情があって借金を多く抱えていて払えないというケースもある。そういう場合については、基本的には少しずつでもいいから支払いいただくような分納の対応をとっている。ですので、パーセンテージは今の数字が限界で、そこから上げるというのがなかなか難しい現状になっている。</p>   |
| 委員  | <p>私もその数字が高いもので、なかなかこれ以上上がらないかなと思ったので、聞かせていただいた。</p>  |
| 委員  | <p>第3次の結果報告の8ページ、市税の自主財源の確保について現年度の収納率が高いということでその下の滞納の話があって、いろんな事情があることは分かったが、滞納繰越分の収納率は一般が40%、国保が35%というこの数値が、他市に比べて磐田市は優秀なのか劣っているのか、つかんでいるか。</p>   |
| 事務局 | <p>細かい数字は持っていないが、磐田市は決して劣ってはいない。</p>  |
| 委員  | <p>「強化」という表現の中では、すごく他の市よりも優秀であれば、そこまでパワーを使わなくても良いのではないかと。本当に劣っているのであれば強化して、他の市並みにやらないといけないといったような印象を与えようと思うので、そこら辺の表現も考えたほうが良いと思う。</p>  |
| 委員  | <p>7ページ、これは意見なのですが、1点目は、「(2) 公有財産の有効活用と積極的な財源の確保」のところで「市有財産を経営資源として捉え」と書いてあるが、私の立場から言えば、固定資産税を払っている磐田市にある不動産は全て市有財産だと思っている。その観点から言うと、この取組課題No.18の「未利用地」は、登記名義が市になっているものというふうには受け取れたが、私は磐田市にある財産全てが市有財産だと捉えているので、そうすると空き家とか空き店舗とかそういった部分をもっと有効活用できるような取組をすれば、第2次総合計画の中に「人が集まるまち」とい</p>   |



|     |  |
|-----|--|
|     | <p>ったところもあるので、人が集まり人口が減るスピードが遅くなれば住民税も確保できるし、固定資産税の確保もできている。</p> <p>2点目は、取組課題No.17の「有料広告の拡充」のところ、市の何かの冊子を見たときに、広告が出ていたほとんどが浜松市の業者だった。有料広告を拡充し磐田市ではなくて浜松市とか他の市の業者が広告を出してしまうと、磐田市の産業振興につながらないのではないかと懸念があるので、その辺も、市内の産業振興のためにも有効活用していただきたいと思っている。</p> |
| 委員  | <p>第4次行政改革実施計画の中に、農業や環境、健康とかそういうことはあまり出てこないように思う。以前審議した第2次総合計画後期基本計画にはすごく詳しく書いてあるが、それとは違うのか。</p>   |
| 事務局 | <p>今お手元にありましたのは、磐田市の総合計画ということで、市が行う農業の支援であったり、子育てであったりという総括的な計画であるが、今回審議している、行財政改革の分野というのは、個別の、子育てであったり、農業振興という部分ではなく、市の行財政改革を進めていくというような分野の計画になる。</p>   |
| 委員  | <p>私は、医療費がどんどん膨らんでいってしまうことをすごく心配をしている。そういう項目が出てきてないことが少し気になった。</p>   |
| 事務局 | <p>今回の行財政改革実施計画については、基本的には総合計画の分野7に書かれている基本施策の取組を推進していくものになっている。医療費等に関しましては、総合計画の他の分野で記載されているので、今回の内容からは外させていただいている。</p>   |
| 委員  | <p>No.17の取組概要の中に「市公共施設ネーミングライツの導入」ということが記載されているが、現時点で候補になっている公共施設はあるか。</p>   |
| 事務局 | <p>現時点では、道路のネーミングライツとして活用させていただいている。御厨駅のロータリーの所やららポートを東西にわたって走る道路の所になる。施設についてのネーミングライツは、現段階では候補に挙がっていないが、今後、検討の余地はあると思う。</p>   |
| 委員  | <p>指標の起債残高のところ、基本的に借金とか残高は少ないほうが良いということで、目標値が57億円減って950億円というふうな数値が記載されているが、目標値の950億円というところが、市民の方に分かりやすいのかが分からなくて、現状から何割下げるといったパーセンテージの目標値という考え方は検討されているか。</p>  |
| 事務局 | <p>起債残高については、総合計画の中期財政見通しに書かれている値を活用しているが、その見せ方として、何%程度減少させるというのは、表現の仕方としては有効だと思うので、参考とさせていただければと思う。</p>   |
| 委員  | <p>市の方向性として、減少させていく方向かどうかというところが、市民の方に分かりやすいと思いを言わせていただいた。</p> <p>あともう一つ、18ページのNo.20、「基金の効果的な運用」の取組概要の中で、担当課の方が自分で情報収集をして、債券運用の知識を習得するという形で取り組まれると書いてあるが、その課の方のスキルで運用するのが実態なのか。</p>  |
| 事務局 | <p>基金の運用については、担当課の職員が勉強し、また、専門家の御意見も伺いながら、基本的には担当課が運用している。</p>   |
| 委員  | <p>その担当課の方が責任重大のような感じがある。専門家に任せるような発想はないのか。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 今後必要になるだろうと思っている。確かにおっしゃるとおりで、担当課の担当者は相当気苦労があると聞いている。   |
| 委員  | 今後もなかなか積極的に手は出しづらい分野だと思う。成果を目標値にするのは大変なプレッシャーになるので難しいと思うが、割り切ると専門家に頼むとか、表現のところも専門家を入れるといった表現にすると市民の方も安心するのではないかと思う。   |
| 委員  | 17ページのNo.17「財源確保の推進」のところで、もしかしたら「ふるさと納税の推進」に含まれているのかもしれないが、昨年、磐田市とジュピロ磐田のクラウドファンディングをやって7,300万円集まったという記事も目にするので、「クラウドファンディング」という言葉をどこかに入れてもよいのではないか。その理由として、10ページにも「若い世代の市政への参画の推進」があるが、高校生が事業を提案してもお金がないという話になってくると思うので、そういうときにクラウドファンディングの知識がある職員がいてくれてそういった面でサポートしていただければ、事業資金面でもケアできるのではないかと思う。 |
| 委員  | 20ページのNo.25の上下水道の関連のところですが、健全な運営ということの下に取組内容が四つあるが、今ちょうど上下水道審議会で使用料の見直しとかいろいろやっているが、健全な運営をするために、そういう審議会ですらいろいろと委員の方々とか市民の方々と意見交換してチェックしているというところもこの項目に入れておくと、市民も一緒になって考えているということが分かると思う。そういったことを取組内容のそこには書けないのか。  |
| 事務局 | 取組内容に記載できるかどうか検討させていただきたいと思う。   |
| 委員  | 取組内容の表について、令和4年「実施」で、あとは矢印で令和8年まで行っているが、令和5年はどのぐらいで令和6年にどのぐらいみたいな具体的な表記の仕方はできないか。   |
| 事務局 | 表現の仕方についても検討していきたいと思う。  |
| 委員  | 18ページのNo.20「基金の効果的な運用」の表現について、預金や債券以外の運用手法というのは、基金の資金だとなかなか難しいのかなと感じる。「基金の効果的な運用」という表現だと、積極的な運用を行っているような話にもとられかねないと思うので、この効果的な運用というの、もう少し表現を抑えたほうがいいのかなという感じがする。取組内容に書いてある「基金の運用の推進」というのは、概ねよいのかなと思う。   |
| 委員  | 今は大変重要な指摘だと思う。今、市が何をやりたいのかということをごここに具体的に書くと相当に大きな行政の改革にもつながると思っている。取組の概要について、できれば具体的に書いてもらえればと思うが、どこまでできてどこまでやるのかということについて、市民が見て分かるかどうかということかなと思う。これはかなりで大きな課題である。基金を今までの使い方ではなくて基金の効果的な運用をするということは、例えば、取り崩すとか、少し危険性はあっても、他の債権や何かで運用するとかいうそういう内容なのか。  |
| 事務局 | 取組概要に書かれているとおり、預金だけで十分な運用が見込めないというところがあり、現状、基金の内訳としては債権が大体16%を占めて運用している。令和3年度は運用益も前年比で3割程度向上したというところもあるので、その運用についての在り方、現状その職員が個人で勉強したり、また外部の識者から聞いたりしながら運用しているというところであるが、その在り方が良いかということもあるので、運用について今後研究を進めて、安全でかつ効果的な運用について、具体的な内容を検討していきたいと考えている。  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 基金の運用については条例で決めてあるのか。条例を直すということか。   |
| 事務局 | 基金の運用の条例はない。  |
| 委員  | 条例はなくても基金ごとに決めてあるということか。  |
| 事務局 | 債券運用要綱というものがあり、その要綱の見直しを令和3年度に行うなかで、長期債券の購入を可能にしたという形になっている。  |
| 委員  | 私の前の職場で外郭団体がこのようなことをやったことがあって、その時代の流れもあったが、結果として基金全体を小さくしてしまったということがあり、責任どうするのだという話もあって、大変大きな課題だったので少し心配になった。   |
| 事務局 | 本当に貴重な御意見であったので、所管のほうにもお伝えをさせていただいて、この記載の在り方についても検討させていただければと思う。  |
| 委員  | こういう基金の効果的な運用ということを取組課題として挙げることにについて、どういう感想を持ちますか。  |
| 委員  | 取組概要について、結果として「基金の効果的な運用を図る」というふうに締めているが、少し内容が一般的というか、あえて取組課題として挙げる内容ではないのかなと思う。逆に先ほどもお話ししたように市民の方から見ると効果的な運用というのを、積極的な運用という読み替える方もいらっしゃるし、やはり基金の資金というのは、元本割れは避けなければならないので、結果として債券運用の知識の習得だとか情報収集をしても、預金もしくは債券での運用に限られるというか、その運用に限定して実施をしていったほうがいいのかと感じた。 |
| 委員  | 1 番冒頭にも私もこの表現のところで、職員の方だけでなく専門家に依頼したほうがよいのではないかという意見を述べさせていただいた。今までも、この基金の積極的な運用はしていないのだから成果を上げているという背景や、人口減で税収も減っている中で、こうしたことをやっているというところでは、表現はあったほうが良いと思う。  |

■全体での意見共有後、意見交換

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>22ページ、基本施策3「機動的な組織体制の構築と人材の育成」という項目について、職員力の向上についての一つのアイデアとして、磐田市の場合は、定期的に3年ぐらいで異動があるということだが、もう少し人事の配置の仕方を考えて、一つの分野について精通している人を残しておくという方法はいかなものか。一つのアイデアだが、人材の育成について、この人に聞いたらこの分野はもう全部分かっている、任せておけば良いというような仕組みも必要じゃないかと思う。</p>  |
| 委員  | <p>基本施策3について、まず1点目、25ページの「働きやすい職場づくり」ということで新たな取組を入れられたと思うが、この取組は非常に良い取組だと思うので、22ページの基本施策3、基本施策の方向の文言のところにも、「職場環境の整備」という言葉を入れたほうが良い。</p> <p>それと、同じことですが、24ページ(2)の方向性が書かれていて、「研修制度の充実を図ります。」の後ろにも、同じように「働きやすい環境整備」についても書いたほうが良いと思う。</p> <p>それと、同じく24ページ(2)「職員の資質向上と職場環境の整備を推進」ということだが、これは「市民サービスの向上に向け」ということで、基本政策の方向性に書かれているので、枕言葉に、「市民サービスの向上に向け」という表現をしたほうが良いのではないかと思う。</p> <p>それと、22ページの数値目標「職員研修受講者数」で、現状「978人」、令和8年「2,000人」とあるが、当然職員の分母が変わっていくのだから、分母が変わった上で、研修受講者数が増えていくという表現、例えば1人当たり何回とか、括弧つきでも良いのでそういう形を追記されたほうが良いと思う。</p> <p>その下の「時間外勤務時間数」が現状「77.9時間」から目標値「64時間以下」ということになっている。差し替え資料では現状「56.6時間」、目標値「50時間以下」というふうになっているが、第3次磐田市行政改革実施計画の報告書の9ページの1番下のグラフの令和3年の実績が「78.5時間」ですので、このあたりは整合がとれていないのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>時間外勤務の時間数を数値目標に掲げていますが、第3次の報告書の令和3年「78.5時間」、第4次の計画書の差替え前の資料の令和2年「77.9時間」というこの数字ですが、病院と消防が入ってしまっていた数字で記載誤りになっておりました。今回第4次計画をつくるときに、もう一度数字の確認をしっかりとさせていただいて、病院と消防については時間外勤務が発生をしても致し方ない勤務状態でやっているところですので、ここについては除くのが目標設定では正しいと思っているので、その数字を精査してみたところ、現状は病院・消防を除くと「56.6時間」で、今度「50時間以下」を目標にしていくという、消防・病院を含む含まないの計算の仕方をしっかり見直した結果このようにさせていただいた。</p>  |
| 委員  | <p>今日出された意見については事務局のほうで今まとめていただいたが、さらに、出た意見について精査させていただいて、最終的な計画書にまとめてもらえればと思う。いずれにしても、行財政改革実施計画は、総合計画の下支えをするという説明があったように、この行革の取組を具体化して書くというのが、行財政改革実施計画である。今までの意見にもあったように、それぞれの実施項目について、具体的にかけるものは書いて、それから数字で書けるものは書いてということについて、事務局のほうでも、市役所のほうでも御努力をいただければと思う。</p>   |

それから、難しい行政用語とか、あるいは一般の方々になじみの薄い用語、例えば、「PPP」、「PFI」のようなどころについては気配りいただければと思う。

それから、一つだけ付け加えさせてもらおうと、行政を実施している方はこの計画の中身について具体的な内容について知っているから、その知っている内容を踏まえて書いていると思うが、市民の人がこの計画を見たときに、具体的な内容について知らない方が多いと思う。どこを見たらいいかというようなことを計画の中に書いておいていただければ、例えば、QRコードでもURLでも書いていただければ、そこを見れば内容をさらに深く理解できるのではないかと思うので、表記の仕方について、工夫をいただければありがたいというのが私のお願いでもあるので、ぜひ、御検討いただければと思う。

7 閉会 審議会 終了(20:30)